

※答えは全て、解答用紙に書きましょう。

1 五年生の鈴木さんは、「小学校の児童数の変化」という見出しの記事を読んで、疑問をもちました。そこで、自分たちの小学校（第三小学校）における一年生の人数の変化について調べ、次の【主な内容と構成のメモ】と【報告文の下書き】を書きました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

【主な内容と構成のメモ】

一 調べた理由

- ・記事について
- ・記事にのっていた【グラフ】と、わかったこと
- ・記事を読んでもに思ったこと

二 調べた方法と内容

- ・どこで ↓ 学校の図書館で
- ・どうやって ↓ 学校ようらんを使って
- ・何を ↓ 第三小学校の一年生の人数を三年分調べたこと

三 調べた結果とわかったこと

- ・調べた結果をまとめた【表】
- ・結果からわかったこと
- ・「二 調べた理由」に書いたぎもんの答えになるように書く。

四 調べてみて考えたこと

- ・記事にのっていた「少子化」の意味を「」をつけながら、しようかいする。
- ・新たにぎもんに思ったこと

【報告文の下書き】

第三小学校でも一年生はへっているか

第三小学校 鈴木 孝太

一 調べた理由

先日、「小学校の児童数の変化」という見出しが書かれた記事を見つけた。その記事を読んで見ると、「小学校の児童数の変化」の例として、次の【グラフ】がのっていた。

この【グラフ】

を見てみると、平成二十六年から平成二十八年にかけて、小学校一年生の人数が、だんだんへっていることがわかった。

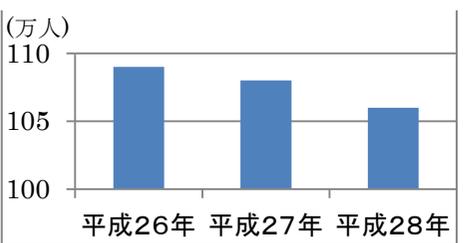
この記事を読んでみて、ぼくの学校の一年生でも同じだろうか、ぎもんに思った。

そこで、第三小学校の一年生の人数の変化について調べ、記事と比べてみることにした。

二 調べた方法と内容

学校の図書館で、学校ようらんを使い、第三

【グラフ】全国の小学校1年生の人数の変化



(文科省「学校基本調査」による)

小学校の一年生の人数について、平成二十六年と、平成二十七年、平成二十八年（記事と同じ年）を取り上げて調べた。

三 調べた結果とわかったこと

調べた結果を下の【表】にまとめた。第三小学校の平成二十六年の一年生の人数は、八十四人だった。平成二十七年は七十九人で、前の年から五人へった。

A

【表】第三小学校の1年生の人数の変化

	1年生の人数	前年からへった人数
平成26年	84人	
平成27年	79人	5人
平成28年	71人	8人

四 調べてみて考えたこと

記事では「少子化」という言葉も使われていた。記事によると『「少子化」とは、生まれる子どもの数が少なくなって、子どもの人数がだんだんへっていくこと』だそうだ。子どもの数がどんどんへったら小学校はどうなるのか、新しいぎもんもわいてきた。「少子化」についても、もっと知りたいと思った。

一 【主な内容と構成のメモ】から、鈴木さんは報告文を書く上でどのような工夫をしていると考えられますか。その工夫として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 調べた理由やきっかけがはっきり伝わるように、文章の終わりに書くこととしている。
- 2 引用した言葉や文に「」をつけ、自分が考えた言葉や文として書くこととしている。
- 3 まとまりごとの内容が分かりやすいように、小見出しをつけようとしている。
- 4 調べ方をくわしく伝えるために、「いつ」「どこで」「どうやって」調べたかを説明しようとしている。

二 鈴木さんは、【報告文の下書き】の A の中に、調べてわかったことを書きました。あなたならどのような内容を書きますか。次の〈条件〉に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- 【表】をもとに、わかったことを書くこと。
- 「一 調べた理由」に書かれた疑問の答えになるように書くこと。
- 「平成二十七年は七十九人で、前の年から五人へった。」の続きになるように、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。

2 山本さんの学級では、杉みき子さんが書いた『ゆず』という題名の物語を読んで、音読発表会をすることにしました。次は、【物語の一部】と、「少女」の人がらについて話し合った時の【大川さんと山本さんのやりとりの一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

【物語の一部】 ①の内容は、あとの【大川さんと山本さんのやりとりの一部】で取り上げられます。

雪のしんしんとふる夜道を、少女は歩いていて。

（中略）

おぼつかなげにたたずむ人かげがある。近づいてみると、それは角巻きをすっぽりかぶったおばあさんで、少女を見ると救われたように声を立てた。

きいてみると、初めてたずねる親類の家をさがしているのだと言う。少女はちよつと考えて、二つ先の小路にその名の表札をかけた家があったのを思い出した。

雪の積もった町では、辺りのたたずまいが一変して、道に慣れた者でもふと方角を失うことがある。①ただでさえ足もとのあぶなげな年寄りに、そこと教えただけでは心もとなく、少女は引き返して案内に立った。

「道が細いから、気をつけてね。」

声をかけながらふり返ると、老女は早くも、だれかのふみこんだくつあとのあなにつまずいて、よろめくはずみに手に持ったふるしきがほどけたらしい。さっきの果物屋で買ったとみえる大きなゆずが二つ三つ、雪道を転げた。

少女が急いで拾い上げ、ふるしきへ返そうとすると、いったん受け取りかけたおばあさんは、何を思ったか、ふと手を止めてつぶやいた。

「悪いけど、そこまで持ってってくんなんないかね。おら、手ははじかんで……。」

少女は言われるままに、そのゆずを両手にだいて、先に立った。

細かい雪がアノラックのフードにふりかかって、おくれ毛につゆをつくる。めざす小路はだれも通らないとみえ、もう細い道のあとさえ消えかかっている。少女は長ぐつを小さきみにふみしめながら、老人の歩みを先導しなければならなかった。

やっと、たずねる家の表札を門灯の明かりで確かめて、手ぶくろのままいつの間にかにぎりしめていたゆずを返すと、おばあさんは何度も頭を下げて、受け取りながらつぶやいた。

「お礼とも言わんねえようなお礼だども……。」

みょうなことを、と思ったが、少女は気にもとめず、人に親切をした後のほのかな満足をだいて家へ急いだ。

（中略）

少女は道を急ぎながら、思わず手ぶくろの手で口の辺りをおおった。そのとたん、ふいに、すがすがしいかおりが顔の前をかすめた。

——あ、ゆずのにおい。

少女は立ち止まって、もう一度、手ぶくろをかざしてみた。きりきりと冷たい夜の空気の中を、ゆずのかおりはそこはかなくなつた。だよつて消える。思い切り息をすいこみ、少女はその時はじめて、あのおばあさんの感謝の言葉（かんしや）を思い出した。

——^②そうか、これがあのおばあさんのお礼だったのね。

少女は、宝石（ほうせき）でもささげるように、手ぶくろの手を星空に高くかざした。

（注1）悪いけど悪いけれど

（注2）持つてつてくんなんないかね。||持つていつて下さらないかね。（注3）おら||わたし

（注4）はじかんで||かじかんで（注5）言わんねえ||言えない（注6）だども||だけれども

（小学校 国語 五年下）学校図書 杉 みき子『ゆず』による。

【大川さんと山本さんのやりとりの一部】

大川 わたしは、少女はやさしい人だと思ったよ。

山本 どこからそう思ったの。

大川 （文章中の①を示しながら）「ただでさえ足もとのあぶなげな年寄りに、そこ教えたただけは心もとなく」と書いてあるでしょ。雪がかなり積もっているの、お年寄りも転ぶかもしれないと心配しているの、やさしい人だと思ふよ。また、「心もとない」の意味がわからなかったから辞書で調べてみると、「不安である」とのつていたよ。この言葉からも、と中で道に迷わ（まよ）ないだろうか、転ばないだろうか、おばあさんのことを心配していることがわかるね。

山本 確かにその表現からもわかるね。他にも少女がやさしい人だとわかる場所を見つけたよ。

（やりとりが続く）

一 【大川さんと山本さんのやりとりの一部】の中の B のところで、山本さんは、さらに【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、「少女」がやさしい人がらであると考えたわけを話しています。あなたが山本さんならどのようなわけを話しますか。次の〈条件〉に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- の大川さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、「少女」がやさしい人がらであると考えたわけを書くこと。
- 五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

二 山本さんは、「②そうか、これがあのおばあさんのお礼だったのね。」の部分の音読のしかたを、「少女」の気持ち（きもち）が伝わるように工夫しました。その工夫として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 小さい声で読む。おばあさんのお札（お札）に対して、少女（少女）がつかかりする気持ちが伝わるように。
- 2 だんだんと大きな声になるように読む。おばあさんのお札（お札）に対して、少女（少女）がおこっている気持ちが伝わるように。
- 3 ゆっくり疑（うたが）うように読む。起きた出来事（出来事）に対して、いまだに信じられない少女（少女）の気持ちが伝わるように。
- 4 はつとしたように読んでからやわらかく読む。おばあさんのお札（お札）に少女（少女）が気づき、うれしくなる気持ち（きもち）が伝わるように。

五年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

正答例

正答数

問 / 4

1

—

3

二 正答例			
る	も	年	平
こ	同	か	成
と	じ	ら	二
が	よ	八	十
わ	う	人	八
か	に	へ	年
っ	、	っ	は
た	一	た	七
。	年	。	十
	生 ⁴⁰	ぼ	一
	が	く	人
	へ	の	で
	っ	学	、
	て	校	前
⁶⁰	い	で	の

一 正答例				
人	子	転	と	一
だ	が	ば	い	道
と	わ	な	う	が
思	か	い	言	細
い	る ⁵⁰	よ	葉	い
ま	の	う	か	か
す	で	に	ら	ら
。	、	気	も	、
	少	を	、	気
⁷⁰	女	配	お	を
	は	っ	ば	っ
	や	て	あ	け
	さ	い	さ	て
	し	る	ん	ね
	い	様	が	レ

二

4

2

解説

平成二十九年年度 C 調査問題 小学校五年国語 解答用紙

五年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

正答例

正答数

問/4問

一 【主要内容と構成のメモ】 から、分かりやすく伝わるように、まとまりごとに小見出しをつけようとしていることがわかります。

二 まず、【表】をよく見て、平成二十八年の一年生の人数は七十一人で、前の年から八人へつていることを読み取りましょう。次に、【報告文の下書き】の「一 調べた理由」に書かれている疑問「ほとくの学校の一年生でも同じだろうか」の答えになるようにまとめ、〈条件〉に合わせて書きましょう。

【正答例】

○平成二十八年も前の年から八人へつて、七十一人だった。ほとくの学校でも記事と同じで、一年生の人数がへつていることがわかった。(六十文字)

【誤答例】

×平成二十八年の一年生の人数は七十一人だった。平成二十七年からは八人へつていることがわかった。(四十六文字)

↓【表】をもとにしてわかったことを書いていますが、【報告文の下書き】の「一 調べた理由」に書かれた疑問の答えになるように書いていません。

×これらから、ほとくたちの学校でも記事と同じように、一年生の人数がだんだんへつていることがわかった。(四十八文字)

↓「一 調べた理由」に書かれた疑問の答えになるように書いていますが、【表】をもとにしてわかったことを書いていません。

1
—
3

二 正答例			
平	年	も	る
成	か	同	こ
二	ら	じ	と
十	八	よ	が
八	人	う	わ
年	へ	に	か
は	っ	、	っ
七	た	一	た
十	。	年	。
一	ぼ	生 ⁴⁰	
人	く	が	
で	の	へ	
、	学	っ	
前	校	て	
の	で	い	

2

一 正答例				
「	と	転	子	人
道	い	ば	が	だ
が	う	な	わ	と
細	言	い	か	思
い	葉	よ	る ⁵⁰	い
か	か	う	の	ま
ら	ら	に	で	す
、	も	気	、	。
、	、	を	少	
を	お	配	女 ⁷⁰	
つ	ば	っ	は	
け	あ	て	や	
て	さ	い	さ	
ね	ん	る	し	
「	が	様	い	

二
4

一 大川さんのように、【物語の一部】の「少女は引き返して案内に立った」「少女が急いで拾い上げ」「ゆずを両手にだいて」「少女は長ぐつを小さきみにふみしめながら」などの言葉や文を取り上げて、「少女」がやさしい人であると考えたわけについて、自分の考えを〈条件〉に合わせて書きましょう。

【正答例】

○「少女は長ぐつを小さきみにふみしめながら」のところから、少女は、おばあさんのために雪をふみしめて道を作っているの、やさしい人だと思った。(六十九文字)

【誤答例】

×「少女は引き返して案内に立った」と書いてあったり、「少女は急いで拾い上げ」と書いてあったりするの、少女はやさしいと思いました。(六十四文字)

↓【大川さんと山本さんのやりとりの一部】で示されている言葉や文以外を取り上げていますが、取り上げた言葉や文をもとに、「少女」がやさしい人であると考えたわけを書いていません。

×少女はおばあさんのことを心配したり、おばあさんに声をかけたり、おばあさんの手伝いをしたりしているからやさしい人だと思えます。(六十二文字)

↓大川さんのように、【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書いていません。

二 「——あ、ゆずのにおい。」「思い切り息をすいこみ、少女はその時はじめて、あのおばあさんの感謝の言葉を思い出した。」「少女は宝石でもささげるように、てぶくろの手を星空に高くかざした。」「などの言葉や文に着目して、「少女」の気持ちを想像し、読むときの工夫を考えましょう。

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 5 年算数 (1)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えはすべて解答用紙に書きなさい。)

【 1 】 次の計算をしましょう。

(1) 0.5×0.6

(2) $35.7 \div 7$

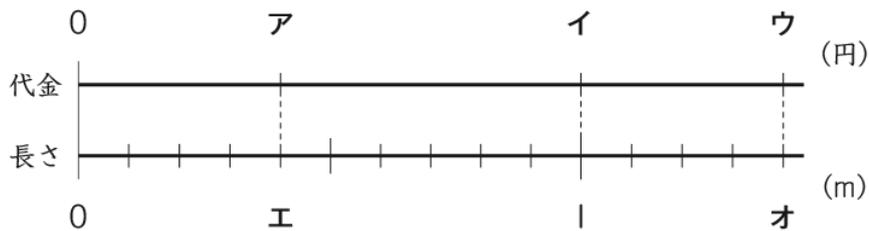
(3) $18 - 12 \div 6$

(4) $\frac{5}{6} + \frac{7}{15}$

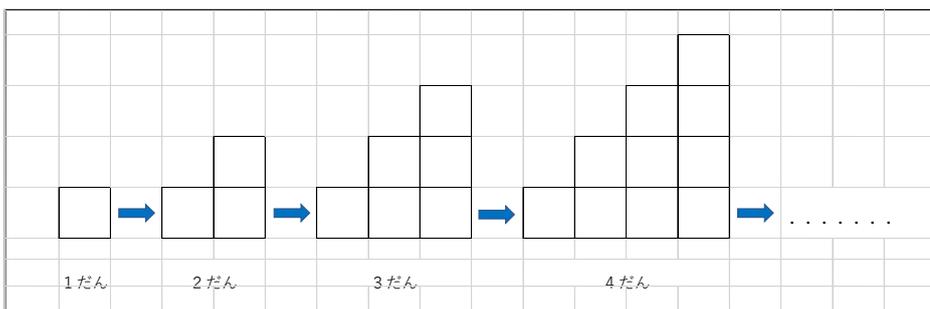
【 2 】 リボンを 0.4m 買います。このときの代金を □ 円として、リボンの長さ^{かいとう}と代金の関係を下の図に表します。

「 1 m あたりの値だんの 60 」 , 「 買う長さの 0.4 」 , 「 0.4m 分の代金の □ 」 のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。

ア から オ までの中から、あてはまるものを 1 つずつ選んで、その記号を書きましょう。



【 3 】 1 辺が 1 cm の正方形をならべて、下のような階段^{かだい}の形をつくっていきます。



(1) だんの数が 6 だんのときのまわりの長さを求めましょう。

(2) だんの数が 10 だんのときのまわりの長さを求める方法を説明しましょう。

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 5 年算数 (2)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()
(答えはすべて解答用紙に書きなさい。)

【 4 】 さとしさんは、所属するサッカーチームリーグの 8 月 15 日現在の順位表を見ています。

順位	チーム名	試合数	勝点	勝ち	負け	引分け	得点	失点	得失点差
1	大町キッカーズ	22	46	15	6	1	36	23	13
2	シュート駒ヶ根	22	44	13	4	5	45	25	20
3	小諸スパイクズ	22	43	13	5	4	30	17	13
4	ファイト岡谷	22	ア	12	4	6	41	24	17
5	スワン安曇野	22	42	13	6	3	35	22	13
6	セービング佐久	22	38	11	6	5	34	20	14
7	松本キラリ	22	36	10	6	6	36	24	12
8	須坂アップルズ	22	33	10	9	3	48	38	10

さとしさんが所属するサッカーチームリーグでは、試合に勝つと勝点 3 が、引き分けると勝点 1 が加わります。負けると勝点 0 です。すべての戦いを終えた時点での「勝点」が多い順に年間順位が決定します。

例えば、「シュート駒ヶ根」の勝点を、たかよさんとひかるくんは次のようにして求めました。



たかよさん

勝ちが 13 試合だから、 $3 \times 13 = 39$
負けが 4 試合だから、 $0 \times 4 = 0$
引分けが 5 試合だから、 $1 \times 5 = 5$
よって、 $39 + 0 + 5 = 44$
勝点は 44 になります。

ひかるくん



勝ちが 13 試合、負けが 4 試合、引分けが 5 試合だから、
 $3 \times 13 + 0 \times 4 + 1 \times 5 = 44$
勝点は 44 になります。

- (1) 8 月 15 日現在の順位が 4 位の「ファイト岡谷」の勝点 **ア** を求めます。2 人の説明のどちらかを参考にして、式や言葉を使って説明しましょう。
- (2) さとしさんが所属するサッカーチームリーグでは、次の条件を満たしたチームがさらに上のサッカーチームリーグへ昇格することができます。

すべての戦いを終えた時点での「勝点」が、「試合数 \times 2」を超えること。

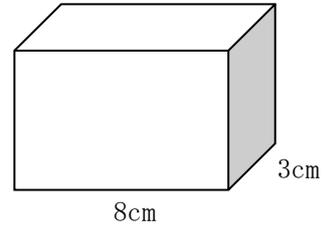
「スワン安曇野」がさらに上のサッカーチームリーグへ昇格するためには、残り 18 試合で勝ち点をいくつ積み上げればいいですか。表の中にある言葉や数字を使って説明しましょう。

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 5 年算数 (3)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()
 (答えはすべて解答用紙に書きなさい。)

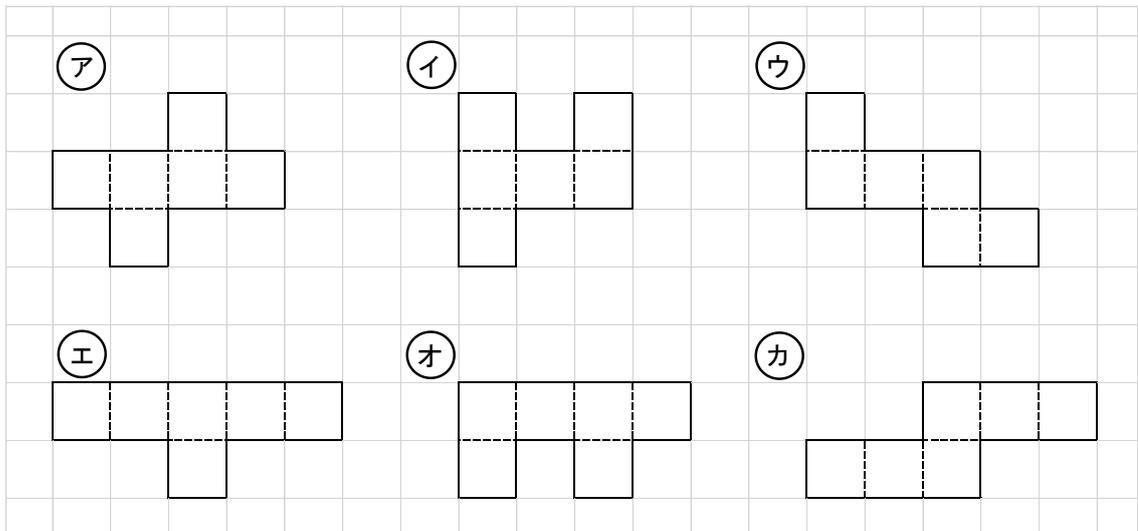
【 5 】 底面の横の長さが 8 cm, たての長さが 3 cm の直方体があります。

(1) 体積が 144 cm^3 のとき, 高さは何 cm になりますか。



(2) 体積が (1) の 2 倍のとき, 高さは何 cm になりますか。

【 6 】 下の図で, 立方体の展開図てんかいずになっているものをすべて選びましょう。



解答用紙

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 5 年算数

正答数

5 年 () 組 () 番 氏名 ()

問 / 12 問

【1】

(1)		(2)		(3)		(4)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

【2】 (完答)

1 m あたりの値段の 60		買う長さの 0.4		0.4 m 分の代金の □	
----------------	--	-----------	--	---------------	--

【3】

(1)	まわりの長さ	cm
(2)	(求め方の説明)	

【4】

(1)	(説明)
(2)	(説明)

【5】

(1)	cm	(2)	cm
-----	----	-----	----

【6】

--

解答例

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 5 年算数

正答数

5 年 () 組 () 番 氏名 ()

問 / 12 問

【1】

(1)	0. 3	(2)	5. 1	(3)	1 6	(4)	$\frac{13}{10}$
-----	------	-----	------	-----	-----	-----	-----------------

【2】 (完答)

1 m あたりの値段の 60	イ	買う長さの 0.4	エ	0.4m 分の代金の □	ア
----------------	---	-----------	---	--------------	---

【3】

(1)	まわりの長さ	2 4	cm
(2) (求め方の説明) (正答例) 1 だんのとき、まわりの長さが 4 cm, 2 だんのとき 8 cm, 3 だんのとき 12cm なので、だんの数に 4 をかけるとまわりの長さになります。よって 10 だんのときは、 $10 \times 4 = 40\text{cm}$ になります。 ※正答の条件が解説シートにあるので、採点時には参照してください。			

【4】

(1)	(説明) (正答例) 【たかよさんの説明を参考にした場合】 勝ちが 12 試合だから、 $3 \times 12 = 36$ 負けが 4 試合だから、 $0 \times 4 = 0$ 引き分けが 6 試合だから、 $1 \times 6 = 6$ よって、 $36 + 0 + 6 = 42$ 勝点は 42 になります。 ※正答の条件が解説シートにあるので、採点時には参照してください。
(2)	(説明) (正答例) 「スワン安曇野」の 8 月 15 日現在の勝点は 42 です。 現在まで 22 試合を行い、残り試合数は 18 試合なので、 年間で $22 + 18 = 40$ 試合行います。 試合数 $\times 2$ を求めると、 $40 \times 2 = 80$ となります。 よって、残り試合で積み上げればよい勝点を求めると、 $80 - 42 = 38$ あと勝点 38 を積み上げればよい。 ※正答の条件が解説シートにあるので、採点時には参照してください。

【5】

(1)	6 cm	(2)	1 2 cm
-----	------	-----	--------

【6】 (完答)

ア	ウ	カ
---	---	---

※答えは全て、解答用紙に書きましよう。

1 並木さんたちは、落ち葉を使ったたい肥作りをするため、同じ学年の友達に協力してほしいと思い、次の【たい肥作りへの協力のお願ひ】を書いていきます。これをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

たい肥作りへの協力のお願ひ

5年1組 並木・中谷・市川

わたしたちは、この夏、野菜作りをしてきました。りっぱな作物をたくさん収穫するためには、肥料だけではなく、土作りが大切なことが分かりました。

なぜたい肥が必要かというと、

ア

そこで、わたしたちは、学校にあるたくさんの落ち葉を利用して、たい肥作りをすることにしました。たい肥は、落ち葉を自然に置いておくだけでもできますが、時間がかかるので、微生物のはたらきを利用して作ります。

たい肥の作り方

- ①落ち葉を入れるたい肥場を準備する。
- ②落ち葉を集める。
- ③ひと月に一度かきまぜる。
- ④水と米ぬかを入れる。

この①、③、④については、わたしたちが行います。落ち葉を集めたら、校庭にあるたい肥場(囲い)に入れてください。

落ち葉集めのお願ひ

みなさんの協力お願ひします。

一 並木さんたちは、本から文を引用して アの部分を書きました。引用するのに最も効果的な文を

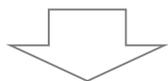
あとの【肥料と土作り】の①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【肥料と土作り】の①から④までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- ①植物が養分を吸収できるのは、根から1ミリメートル程度の範囲であると言われています。
- ②土の中の肥料分を有効に吸収するためには、根の周りの菌が植物の根から養分をもらって代わりに、無数の菌糸をのばし養分を根に運ばなくてはなりません。
- ③土にたい肥を混ぜることにより土の水はけと水もちが改善され、その結果、植物の根がよく発達するので作物の生育が活発になります。
- ④だから、植物の根と微生物が共生するにはたい肥が有効なのです。

二 並木さんたちは、たい肥作りについてくわしい、農家の小林さんの【アドバイス】をもとに、【たい肥作りへの協力をお願い】の [] の中を書いています。次の [] の中の **イ** に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【アドバイス】
たい肥は、有機物を無機物の力で発酵^{はっこう}させて作ります。よいたい肥作りのためには米ぬかをふってかきませ、水をかけるといいです。たい肥に向いている落ち葉は、微生物によって分解(たい肥化)しやすい植物の葉です。分解しやすい葉は、ケヤキ、クヌギなどで、分解しにくい葉は、マツ、スギ、イチョウなどです。分解しにくい葉は、入れない方がいいです。



落ち葉集めのお願い

イ

みなさんのご協力をお願いします。

〈条件〉

- お願いしたい内容を【アドバイス】から取り上げて書くこと。
- 【たい肥作りへの協力をお願い】にふさわしい表現で書くこと。
- 「みなさんのご協力お願いします。」に続くように、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、続く言葉は字数にふくまない。

【2】

大岩さんの学級では、あまんきみこさんが書いた『きつねの写真』という題名の物語を読み、それぞれが考えたことについて、文章中の表現を示しながら話し合っています。次は、【物語の一部】と【話し合いの様子の一部】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

■物語のこれまでのあらすじ

「こんざ山に、松ぞうじいさんという木こりが孫のとび吉きよと二人で住んでいました。そこに、山野さんという新聞記者がきつねの写真をとりに来ました。

【物語の一部】①・②・③・④・⑤の内容は、あとの【話し合いの様子の一部】で取り上げられます。

たずねてきたのは、山野さんという、まだわかい新聞記者でした。山野さんは、いっしょうけんめいにいいました。「こんどの日曜版に、きつねの特集をやるんです。それで、この「こんざ山にはきつねがいる」ということなんです……、その写真をとおもいました。」

そこまでできくと、松ぞうじいさんの目に、なみだがきらりとひかりました。

「いねえ、いねえ。こんざ山のきつねはいねえ。」^①人間にうちとられたり、病気にかかったりしてのう。」

山野さんは、それでもむりにたのみました。

「せめて、きつねのすんでいた穴あなだけでもいいですから、写真をとって帰りたいのですが。」

何回も熱心にそういわれて、松ぞうじいさんは、「こまったように首をふっていました。やがて立ちあがりまして、そして、

②「ついできなせえ。」

と、ひとこといいました。

（中略）

「あの下をさがしなせえ。わしは、仕事があるだで。」

松ぞうじいさんは、ふしくれだった太い指できりかぶのほうをさしてから、さつさと林の中にもどっていきまし
た。山野さんがよく見ると、かやの葉のみどりにかくれるようにして、きつねのすんでいたらしい小さな穴が、あちら
にもこちらにもあるのです。

「ほう、ほう、こりやあ、いい。」

胸がわくわくしてきました。かしやつ、かしやつ。山野さんは、むちゆうでシャツターをきりはじめました。
やっと写真をうつすのをやめたとき、まるでまっていたように、

「すんだかね。」

という声がありました。ふりかえると、もうちゃんと、松ぞうじいさんが立っていました。

「ええ、おかげさまで。」

と、山野さんが白いぼうしをとって礼をいいかけると、松ぞうじいさんは、いかにもうるさそうに手をふってさえぎ
りました。そして、そばの松の木をとんとんとたたいて、

「とび吉、こつちへ、こつちへ。」

と、よびました。

すると、あたりの木がいつせいにざざっとゆれてよびました。

とび吉 こつちへ こつちへ

それから、林の木がこだまするようにじゅんじゅんにさけびながら、葉をゆすりだしたのです。

こつちへ こつちへ

こつちへ こつちへ

こつちへ こつちへ

「きたよ。」

おや、かわいい声だ。そこには、もう、小さいがぐり頭のとび吉が、にこにこして立っていました。

「なんぞ用かい？おじい。」

松ぞうじいさんはうなずいて、ふしくれだった手をちよつかざすようにして、ちようど顔にあたっている夕日の光
をさえぎりながらいました。

「近道いそいで、ふもとの三本松まで案内するだ。山の日、はようしずむで。」^④

それは、おもいがけないほどやさしい声でした。うん、わかってる、と、とび吉がうなずいたとき、山野さんは、
むかいあつたふたりをばちりとうつしました。

く (中略) く

ごんざ山でうつしたしゃしんです。

さて、どれをえらぼうかと、山野さんは、一まいずついねいに見はじめました。そのうち、山野さんの目がまる
くなりました。

「き、きつねの写真だ。」^⑤

むかいあつた大きなきつねと小さなきつね！大きなきつねは、ひたいに手をかざしています。

(いったい、いつ、うつしたんだ?)

しばらく見ていた山野さんの耳に、

「山の日、はようしずむで。」

といった、松ぞうじいさんのしずかな声がきこえてきました。

(そうか。たった二ひきだけ、のこっていたんだな。)

山野さんはうなずくと、ひきだしのおくに、きつねの写真をそっとしまいました。

(これは、なかつたことにしよう。)

たばこに火をつけました。

そして、そのたばこのけむりを見ながら、

(あのふたりに、おいしいものでもおくらせよう。どんなものをよろこぶかな。)

と、そんなことをせわしく考えはじめました。

【話し合いの様子の一部】

横山 あまんきみさんの『きつねの写真』を読んで、心に残ったところはどこかな。

原 (③を示しながら)「あたりの木がいつせいにざざっとゆれてよびました」というところで不思議な感じがすると思っただけだ。

大岩 そうだね。不思議なことといえば、松ぞうじいさんとび吉はきつねだったのかな。

田中 二人を写したはずの写真にきつねが写っていったんだから、きつときつねだよ。

原 どこからそう思うの。

田中 (④を示しながら)「山野さんは、むかいあったふたりをぱちりとうつしました」とあるでしょ。

横山 そうだね。それに、(⑤を示しながら)「き、きつねの写真だ」と書いてあるしね。

原 二人を写したはずの写真にきつねが写っているってことは、やっぱりきつねなのかな。

大岩 きつときつねだよ。他にもきつねって考えられるところはあるかな。

田中 (②を示しながら)「ここで、松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言っているところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけど、どうかな。

原 私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよ。田中さんの言いたいことはそういうことではないのかな。

田中 そうそう。

横山 (①を示しながら)「ここにもあるよ。「人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだとかんがえることもできるね。」

田中 そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

〜(話し合いが続く)〜

一 【話し合いの様子の一部】の中の――部アの発言は、この話し合いの中でどのような意図がありますか。

最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 考えのもととなる文章中の表現を明らかにしようとしている。
- 2 言葉の意味が理解できず、その意味を知ろうとしている。
- 3 今まで出ていない考えを引き出そうとしている。
- 4 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめようとしている。

二 【話し合いの様子の一部】の中の B のところで、田中さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上

げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

- の横山さんのように【物語の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

正答例

正答数

問/4問

1
—
3

30

60

二 正答例										
◆	分	解	し	や	す	い	ケ	ヤ	キ	、
ク	又	ギ	な	ど	の	葉	を	入	れ	
て	く	だ	さ	い	。	分	解	し	に	
く	い	マ	ツ	、	ス	ギ	、	イ	チ	
ヨ	ウ	な	ど	の	葉	は	入	れ	な	
い	で	く	だ	さ	い	。				

みなさんのご協力をお願いします。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

2
—
4

二 正答例						
	じ	が	ま	と	が	◆
	い	表	っ	こ	き	松
	さ	れ	た	ろ	ら	ぞ
	ん	て	仲	は	り	う
	は	い	間	、	と	じ
	き	る	の	人	ひ	い
	つ	と	き	間	か	さ
	ね	思	つ	に	り	ん
	だ	う	ね	う	ま	の
	と	か	を	ち	し	目
100	考	ら	思	と	た	に
	え	、	う	ら	「	、
	た	松	気	れ	と	な
	よ	ぞ	持	て	い	み
	°	う	ち	し	う	だ

60

解説

1 【『肥料と土作り』の一部】の①から④までの文の中から、引用するのに最も効果的な文を選びます。

二 【アドバイス】から「落ち葉集めをお願い」にふさわしい情報をとらえた上で、その内容をとり上げて協力を依頼することができるとします。

【正答例】
○ 微生物によって分解しやすいケヤキ、クヌギなどの葉っぱを入れてください。
(三十三字)

【誤答例】
× 微生物によって分解しやすい葉を選ぶこと。分解しやすい葉は、ケヤキ、クヌギなど。

↓【たい肥作りへのお願い】にふさわしい表現で書いていません。

× たくさんの葉っぱを集めてください。
↓お願いしたい内容を【アドバイス】から取り上げて書いていません。

1
一
3

二 正答例										
◆	分	解	し	や	す	い	ケ	ヤ	キ、	
	ク	ヌ	ギ	な	ど	の	葉	を	入	れ
	て	く	だ	さ	い	。	分	解	し	に
	く	い	マ	ツ、	ス	ギ、	イ	チ		
	ヨ	ウ	な	ど	の	葉	は	入	れ	な
	い	で	く	だ	さ	い				

みなさんのご協力をお願いします。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

正答数

問/4問

2
一
4

二 正答例						
	じ	が	ま	と	が	◆
	い	表	っ	こ	き	松
	さ	れ	た	ろ	ら	ぞ
	ん	て	仲	は	り	う
	は	い	間	、	と	じ
	き	る	の	人	ひ	い
	つ	と	き	間	か	さ
	ね	思	っ	に	り	ん
	だ	う	ね	う	ま	の
	と	か	を	ち	し	目
100	考	ら	思	と	た	に
	え	、	う	ら	」	、
	た	松	気	れ	と	な
	よ	ぞ	持	て	い	み
	。	う	ち	し	う	だ

60

2 一 原さんの発言について、どのような意図があるのかを捉える必要があります。原さんは、田中さんの「ここで(中略)ところがあるでしょ。私は、ここからもきつねってわかる気がするんだけれど、どうかかな」という発言に対し、田中さんの考えについて自分の理解が正しいかどうか確かめるために、ア「田中さんの言いたいことはそういうことでもいいのかな」と質問しています。これに対し、田中さんは、「そうそう」と、原さんの理解が正しいことを認めています。このことから、選択肢4が正答となります。

二 横山さんのように、【物語の一部】から叙述を基にして、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけについて、自分の考えをまとめて書く必要があります。

【正答例】

○ 松ぞうじいさんが「ついてきなせえ」と言って山野さんをきつねが住んでいた穴に連れて行ったのは、これ以上何も聞かれないように早く帰したかったからだと思う。だから、松ぞうじいさんはきつねだ思う。(九十五字)
↓話し合いの様子の一部【】で示されている叙述を取り上げています。

【誤答例】

× 「き、きつねの写真だ」と書いてあるから、二人はきつねだと思った。(三十二字)

↓【物語の一部】の言葉や文を取り上げているが、取り上げた言葉や文を基に、どうして松ぞうじいさんやとび吉がきつねだと考えるのかを書いていません。

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 6 年算数 (1)

6 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えはすべて解答用紙に書きましょう)

【 1 】 次の計算をしましょう。

(1) $10.3 + 4$

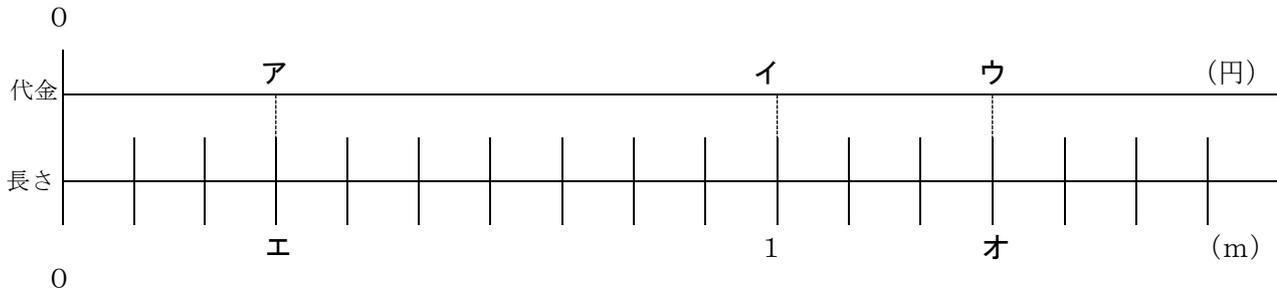
(2) $6 + 0.5 \times 2$

(3) $5 \div 9$ (商を分数で表しましょう。)

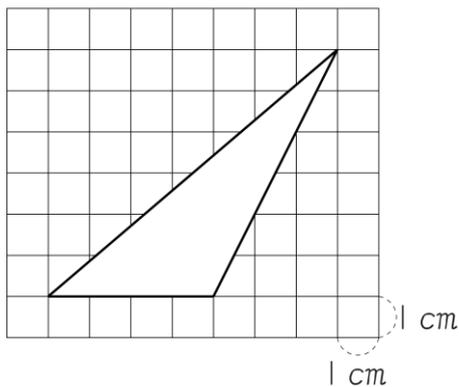
【 2 】 次の問いに答えましょう。

1 m あたりの値段が 400 円の針金を 0.3 m 分買います。このときの代金を □ 円として、針金の長さ
と代金の関係を下の図に表します。

「 1 m あたりの値段の 400 」 「 買う長さの 0.3 」 「 0.3 m 分の代金の □ 」 のそれぞれの場所は、下の
図のどこになりますか。アからオまでの中から、あてはまるものを 1 つずつ選び、その記号を書
きましょう。



【 3 】 下の図のような三角形の面積が何 cm^2 になるのかを求めます。この三角形の面積を求める式を
書きましょう。ただし、図の 1 目もりは 1 cm とします。



平成 29 年度 C 調査問題 小学校 6 年算数 (2)

6 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【4】 まなみさんとひできさんは、となりの県の友だちに、宅配便で本を送ることにしました。となりの県までの宅配便の送料を調べると、下の表 1 のとおりでした。

表 1

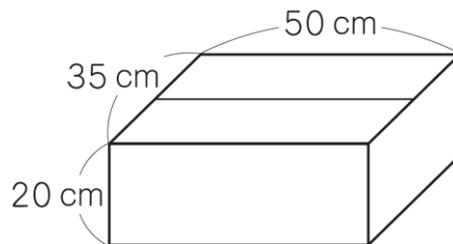
となりの県までの宅配便の送料			
荷物サイズ	3 辺の合計 (※1)	重さ	送料 (※2)
60 サイズ	60 cm まで	2 kg まで	600 円
80 サイズ	80 cm まで	5 kg まで	800 円
100 サイズ	100 cm まで	10 kg まで	1000 円
120 サイズ	120 cm まで	15 kg まで	1200 円

ご利用上の注意

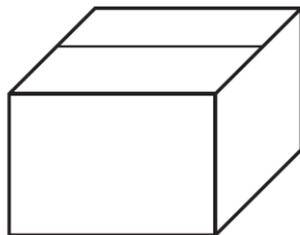
※1 「3 辺の合計」とは、直方体の箱のたて、横、高さをたした長さです。

※2 送料は、「3 辺の合計」の荷物サイズと「重さ」の荷物サイズのどちらか大きい方の荷物サイズの送料になります。

- (1) まなみさんは、下のような直方体の箱を準備しました。下の箱の「3 辺の合計」は何 cm ですか。答えを書きましょう。
- また、このときに「3 辺の合計」だけで考えると、**荷物のサイズ**は何サイズですか。答えを書きましょう。



- (2) ひできさんは、下のような箱に本を入れて荷物を送ります。荷物の「3 辺の合計」と「重さ」を調べると、次のようになりました。



【3 辺の合計】	75 cm
【重さ】	8.6 kg

この荷物を送るとき、送料は何円になりますか。答えを書きましょう。

また、その送料をどのようにして求めたのか、上の表 1 の言葉と数を使って説明しましょう。

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 6 年算数 (3)

6 年 () 組 () 番 氏名 ()

【5】 あきらさんは、学校の水の使用量について調べるために、事務室で下の資料をもらいました。

学校の水の使用量

月	4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月	1年間
使用量(m ³)	550	1500	950	900	800	800	5500

※「4・5月」は、「4月と5月の合計」を表しています。

(1) あきらさんは、6・7月の 1500m³がどれくらいの量なのかを、家の近所のプールに入る水の量をもとに考えることにしました。

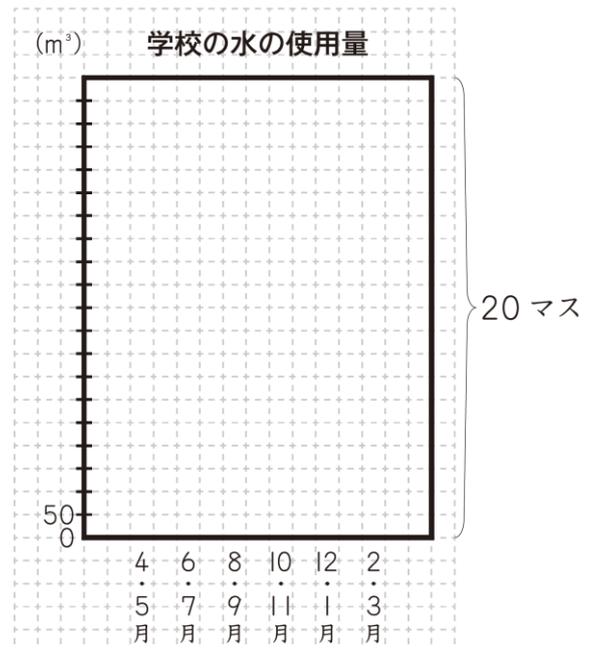
あきらさんの家の近所のプールには、水が 250m³入ります。

6・7月の水の使用量は、このプールに入る水の量の何倍になりますか。求める式と答えを書きましょう。

(2) あきらさんは、上の学校の水の使用量の表を棒グラフに表すことにしました。そこで、ノートに、右のような縦 20 マス、横 15 マスのわくをかき、縦の 1 目もりを 50m³にしました。

すると、4・5月の棒はわくに入りますが、棒がわくに入らない月があることに気がきました。

棒がわくに入らない月を、下の 1 から 5 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。また、その月の棒がわくに入らないわけを、言葉と数を使って書きましょう。



- 1 6・7月
- 2 8・9月
- 3 10・11月
- 4 12・1月
- 5 2・3月

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 6 年算数 (4)

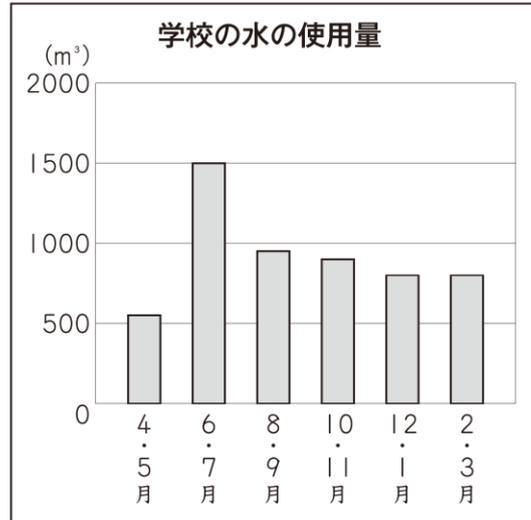
6 年 () 組 () 番 氏名 ()

(3) あきらさんは、6・7月の水の使用量が1年間の水の使用量の $\frac{1}{4}$ より多いことを説明します。下の1から4までのどのグラフを使うと最もわかりやすいですか。1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 絵グラフ



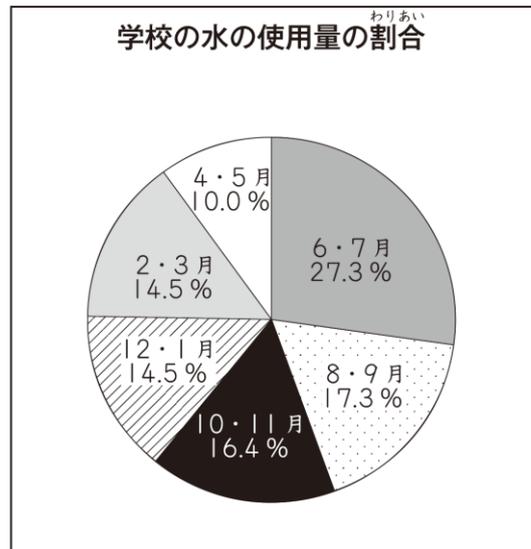
2 棒グラフ



3 折れ線グラフ



4 円グラフ



解答用紙

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 6 年算数

6 年 () 組 () 番 氏名 ()

【1】

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

正答数

問/10 問

【2】

1 m あたりの値段の 400	
買う長さの 0.3	
0.3m 分の代金の □	

【3】

--

【4】

(1)	3 辺の合計	cm	荷物のサイズ	
	送料	円		
(2)	求め方			

【5】

(1)	式	答え
	番号	
(2)	わけ	
(3)		

正答(例)

平成 29 年度 C 調査問題 小学校 6 年算数

【1】

(1)	14.3	(2)	7	(3)	$\frac{5}{9}$
-----	------	-----	---	-----	---------------

【2】

1 mあたりの値段の 400	イ
買う長さの 0.3	エ
0.3m分の代金の□	ア

【3】

例) $4 \times 6 \div 2$

【4】

(1)	3 辺の合計	105 cm	荷物のサイズ	120 サイズ
	送料	1000 円		
(2)	求め方	<p>(正答の条件)</p> <p>次の①, ②, ③の全てを書いていること。</p> <p>① 「3 辺の合計」などの説明する対象を示す言葉と, 3 辺の合計に対応する荷物サイズ, 長さの範囲のいずれかを示す言葉や数。</p> <p>② 「重さ」などの説明をする対象を示す言葉と, 重さに対応する荷物サイズ, 重さの範囲のいずれかを示す言葉や数。</p> <p>③ 送料は, 荷物サイズが大きい方の送料に決まること。</p> <p>(正答例)</p> <p>3 辺の合計は 75 cmなので, 荷物サイズは 80 サイズです。重さは 8.6 kgなので, 荷物サイズは 100 サイズです。送料は, どちらか大きいほうの荷物サイズの送料になるので, 1000 円です。</p>		

【5】

(1)	式 1500÷250	答え 6 倍
	番号 1	<p>わけ (正答の条件) 番号を1と解答し、次のAまたはBまたはCのいずれかで、それぞれA①, A②, A③の全てまたはA②, A③を書いている。また、B①, B②, B③の全てまたはB②, B③を書いている。さらに、C①, C②, C③の全てまたはC②, C③を書いている。</p> <p>A 示されたグラフの枠の中には1000m³までしか表すことができないこと、6・7月の水の使用量は1500m³であることを基に、わけを書いている。 A① グラフの枠の中に表すことができる量を求める式や言葉 A② グラフの枠の中には1000m³までしか表すことができないこと A③ 6・7月の水の使用量は1500m³であること</p> <p>B 6・7月の水の使用量をグラフに表すためには30マス必要になること、示されたグラフの枠には20マスしかないことを基に、わけを書いている。 B① 6・7月の水の使用量を表すために必要なマスの数を求める式や言葉 B② 6・7月の水の使用量を表すためには30マス必要になること B③ グラフの枠には20マスしかないこと</p> <p>(2) C 6・7月の水の使用量をグラフに表すためには一目盛りの大きさが75m³以上必要になること、示されたグラフの一目盛りの大きさが50m³であることを基に、わけを書いている。 C① 6・7月の水の使用量を表すために必要な一目盛りの大きさを求める式や言葉 C② 6・7月の水の使用量を表すためには、一目盛りの大きさが75m³以上必要であること C③ グラフの一目盛りの大きさが50m³であること</p> <p>(正答例) ・A 番号 1 わけ 棒グラフで表すことができる水の量は、1目盛りが50m³で20マスだから、50×20=1000で、1000m³までです。6・7月の水の使用量は1500m³で、1000m³よりも多いので、棒が枠の中に入りません。</p> <p>・B 番号 1 わけ 1目盛り50m³とすると6・7月の1500m³は、1500÷50=30で30マス必要です。20マスより大きいので棒が枠の中に入りません。</p> <p>・C 番号 1 わけ 1500m³を20マスで表すためには1500÷20=75で、1目盛り75m³であれば20マスで表すことができます。このグラフは1目盛り50m³なので75m³より小さいので棒が枠の中に入りません。</p>
(3)	4	